

開館10周年記念特別展

川の古代祭祀

五反島遺跡を考える

平成14年4月27日(土)～6月9日(日)

■会場 当館特別展示室
■開館時間 午前9時30分～午後5時
■休館日 5月7日、13日、20日、27日、6月3日

■観覧料
大人 500円(400円)
高校・大学生 250円(200円)
小・中学生 100円(80円)

*市内在住の65歳以上の方は半額
*土曜日は市内の小・中学生は無料
*()内は20名以上の団体割引料金

■講演会

5月3日(祝) 午後2時～3時30分

「奈良時代の鏡—五反島遺跡出土の鏡を中心として—」

奈良文化財研究所主任研究官 杉山 洋氏

6月2日(日) 午後2時～3時30分

「古代の難波を訪ねて」

(財)大阪市文化財協会難波宮調査事務所長 積山 洋氏

※会場はいずれも当館講座室 ※聴講無料(ただし、展示室の観覧には観覧料が必要です。)

開館10周年シンポジウム

5月19日(日) 午前10時～午後4時30分

「古代祭祀を語る—五反島遺跡と古代祭祀—」

会場 吹田勤労者会館(定員200名)

申込 ハガキまたはFAXで博物館まで(4月30日必着)

吹田市立博物館

大阪府吹田市岸部北4丁目10番1号
TEL.06-6338-5500 FAX.06-6338-9886

川の古代祭祀

五反島遺跡を考える

開館10周年記念特別展

五反島遺跡は吹田市南吹田5丁目の神崎川右岸に所在する弥生時代から室町時代にかけての複合遺跡です。昭和61年（1986）7月から翌年2月、南吹田下水処理場の拡張工事に伴う事前調査として、約8,000㎡に及ぶ範囲に発掘調査を行い、古墳時代と歴史時代の神崎川の旧河道跡と歴史時代の堤防跡の遺構を検出しています。

数万点に及ぶ出土遺物のなかでも特に注目されるのは、瑞花双鳳麒麟狻猊文鏡をはじめとする鉄鏡・鎌・鋤先・刀子・壺・甕などの平安時代前期の祭祀に関わる資料群で、三国川（神崎川）を舞台として行われた祭祀に用いられたと考えられます。これらは模造品ではなく実物であり、都城の祭祀遺物と比べても極めて優品であること、また、都城や官衙関連施設ではなく、大河川の合流点という自然景観のなかで営まれた祭場であることなど、五反島遺跡は古代祭祀の情景としては特殊な様相を示しています。

この特別展では、五反島遺跡の祭祀資料と合わせて、近畿地方を中心に川・溝・海の主な祭祀遺跡の資料を展示し、五反島遺跡が如何なる祭祀の場であったのか、その実態に迫ってみたいと考えています。



黒漆塗壺鏡



カマド



鉄鏡・刀子・鉄斧・鉋具



鋤先・鎌

交通案内

- JR岸辺駅から徒歩25分
- JR吹田駅・阪急吹田駅から
桃山台駅前ゆき、山田樫切山ゆきバス
「佐井寺北」下車徒歩10分
千里中央ゆき、阪急山田ゆきバス
「岸部」下車徒歩10分
- JR吹田北口から五月が丘ゆきバス
「五月が丘西」下車徒歩7分
- 阪急南千里駅からJR吹田ゆきバス
②③系統「佐井寺北」下車徒歩10分

